

2012年9月3日

---

高知工場中央操作室の高台移転について

---

住友大阪セメント株式会社（本社：東京都千代田区、社長：関根福一）は、今後想定される南海沖地震等に備えるべく、高知工場（所在地：高知県須崎市、工場長：井上慎一）の中央操作室を工場内の高台へ移転いたしますのでお知らせいたします。

### 1. 経緯

高知工場の位置する須崎市は、1946年の昭和南海地震、1960年のチリ地震津波など歴史上幾度も大きな津波被害を経験しています。東日本大震災においても、須崎港では西日本で最大の約3メートルの津波を観測し、工場でも一部の事務所設備等に浸水被害が生じました。

当社では、今後高い確率で発生が予想される南海沖地震に備え、高知工場のソフト、ハード両面でBCP策定を進めてまいりましたが、東日本大震災での教訓を活かし、より一層の対策を進めるべく、検討してきました。

なかでも、高知工場の主要設備を集中管理する中央操作室（コントロールセンター）は、海拔約3メートルに位置しています。

東日本大震災発生時には、大津波警報の発令を受け、同操作室にて社員が工場設備の停止操作を行いました。全ての停止操作完了まで30分程度を要しました。社員はそれらの操作を完了したのちに、工場高台への避難を開始しました。幸い人的被害はありませんでしたが、津波の規模や警報発令後の到達時刻によっては、避難が間に合わない事態も想定され、対策が急務となっております。

### 2. 中央操作室移転について

以上の経緯から、高知工場では、今年3月より、中央操作室の高台移転工事に着手しており、2013年10月に完工する予定です。新しい中央操作室は、海拔約29メートルの高台に位置し、想定される南海沖地震による津波被害に対しても、直接的な被害は免れると想定しています。

これにより、万が一の際にも、社員がより安全な作業環境のもとで、工場のオペレーションを行うことができることとなります。また、主要なコントロール機器を保全し、主力工場の被害を最小限に食い止め、早期に復旧することで、お客様への安定供給につながるものと考えております。なお、総投資額は約10億円を予定しております。

### 3. 今後の展望

当社では、全社的にBCPの策定を進めており、今後とも必要に応じて設備の耐震化など、ハード面の整備を進めてまいります。また、有事の際の、情報連絡体制、避難指示系統などソフト面での整備も重要であると考えており、これらも含めて引き続きBCP体制整備を進めてまいります。

#### 【本件に関する問い合わせ先】

総務部 IR 広報グループ TEL03-5211-4927 FAX03-3221-4652

以 上